



オンラインも含め、30人の職員が参加

職員防災研修を 開催

5月28日火

本町の気象防災アドバイザー堀江安男氏を講師に、地震や大雨・豪雨災害対策等、防災に関する職員研修を行いました。併せて、能登半島地震の被災地に派遣した職員の活動報告会も行いました。1週間派遣された福祉事務所の三宅一樹主任主事は、罹災証明発行のための建物被害認定調査に従事。被災地での業務の難しさや防災に対する意識の変化を報告しました。

今後も研修を行い、職員の防災意識の向上を図るだけでなく、町民の皆さんへの出前講座も実施していきます。



頓原中ではみんなで一緒に給食

児童生徒がミシガン州立大からの 留学生と交流

5月30日木
31日金

本町が取り組む「みらい人材育成事業」の一環で、町内の児童生徒が、島根大学に留学しているミシガン州立大学の学生16人と交流しました。この事業は島根大学の協力のもと、児童生徒のコミュニケーション能力の向上と、異文化への興味・関心を高めることが目的。留学生は志々小、頓原中、飯南高を訪問。留学生と児童生徒は、英語と日本語を交えてお互いに自己紹介やゲームをしながら交流し、盛り上がりました。

今後も本事業を推進し、本町から世界を舞台に活躍できる人材を育成していきます。



歓声と笑い声が響くじゃんけん大会



初めてのしめ縄作りに悪戦苦闘



松江市での贈呈式に出席されました(写真中央)

澤田秀樹さんに 知事感謝状

6月12日水

多年に渡る消防団活動、消防団長としての功績により、前消防団長の澤田さん(上来島)に知事感謝状が授与されました。澤田さんは昭和49年に消防団入団。平成28年1月から令和5年12月の8年間は消防団長として、町民の安全確保、団員の資質向上等に尽力されました。

澤田さんは「飯南町消防団をはじめ、関係者の皆さまに感謝申し上げます。今後も地域から必要とされ続ける消防団であってほしいと思います」と話されました。

地域おこし協力隊の 業務を紹介

昨年6月に着任した地域おこし協力隊の正戸あゆみさんの業務が変更になりました。

正戸隊員はこれまでの1年間、「事業承継型ジビエ加工」を担当していましたが、6月1日からは、「食のコーディネート」として、地域の食関係の事業支援や食文化の保存など、より幅広い活動を担当していただきます。

食に関する意見や提案、情報を集め、資源活用や課題解決を推進していきます。



次期総合振興計画 策定委員会を開催

5月17日金

総合振興計画は、町の目指すべき姿とその実現のための取組を定める、町における最上位計画です。

現行計画の期間は今年度末で終了。次期計画を策定するため、昨年度9月に策定委員会を立ち上げ、協議を重ねています。

5月17日には、第5回目の委員会を開催。これまでの施策の評価を行いました。評価委員会での意見は次期計画や今後の事業の組み立てに反映していきます。

今後さらに協議を進め、次期計画を年度内に策定します。



さまざまな意見をいただきました

英語での おはなし会を開催

5月19日日

飯南町立図書館は、毎月第3日曜日に、「Sunday Story Time」を開催しています。

今回は、本や英語に触れることを目的に、「英語でおはなし会」を行いました。英語で絵本を読む担当は、ALTのジョーダンさんとランデンさんです。この日も数冊の絵本を読んだり、参加した親子と英語で交流しました。

この企画は、11月にも開催予定。これらの企画を通して子どもたちが、本に親しむ機会を創っていきます。



ジョーダンさんはこの日が最後の担当。会の終了後に花束を贈りました

朽木博文さんに 感謝状

5月22日水

本町の行政相談委員である朽木さん(畑田)が島根行政相談委員協議会会長感謝状を受賞されました。朽木さんは、平成31年4月に総務大臣から行政相談委員を委嘱されて以来、町民の身近な相談相手として、定例相談所などで暮らしの困りごとの相談を受け付け、その解決に尽力。その功績が認められました。

本町は毎月、行政相談所を開設。行政機関に関する相談や意見を受け付け、解決を図っています。



松江市での表彰式に出席されました(写真右)